

京都府青少年育成協会会長奨励賞

「これからの社会に大切なこと」

舞鶴市立加佐中学校 1年

添田 一作

ぼくがこれからの社会に大切だと思うことは、「他国の文化をよく知り、理解する」ということです。その国のことをよく知りもしないのに、他国のことを悪く言っている人を見かけることがあります。ニュースや新聞でも国と国の様々な問題を取り上げているからでもあると思いますが、そのイメージだけで判断し、悪く言うのはおかしいと思います。

少し前に、北朝鮮がミサイルを発射するということがありました。「北朝鮮の人って最低やな。」とか、「北朝鮮って悪い国やな」という言葉をよく耳にしました。けれど、ニュースや新聞で取り上げられていることは、国と国との問題であり、その国の一部の人のことです。そこに住む人がみんな、攻撃的だったり、悪い人である、ということはないのです。

実は僕も、韓国に行くまでは、ニュースや新聞に取り上げられている人が、その国のすべての人がそうであるかのように思っていました。

ぼくは今までに二回、韓国に行ったことがあります。小学校四年生の時と六年生の時のことです。父が、韓国の人たちとの交流会に参加することになり、よい経験になるから…と僕も連れて行ってもらいました。

初めて韓国に行くことになったときは、日本から出ていくのが少し怖かったです。なぜなら、テレビや新聞などで外国の悪いニュースが流れ、日本人に対する悪い感情があるということを知り、小学校四年生の僕は「外国の人は短気で怒りっぽくて怖い」というイメージをもってしまっていたからです。

でも、実際に韓国に行って、色々な人と交流してみると、全くそんなことはありませんでした。韓国の空港に着いた僕たちを韓国の方々には日本語で迎え、歓迎の気持ちを表現してくださいました。韓国滞在中も、言葉は通じなくてもみんなとても温かく接してくださいました。

この時僕は、「あまり他国のことを知らないのに、悪く思っていたな。」と今までのことを振り返り、反省しました。

韓国では、最初は文化の違いに驚いたりしましたが、だんだん慣れていきました。例えば、食事。おかずは銀色の金属の箸を使って食べ、ご飯はスプーンで食べます。食べ物のほとんどが辛い味付けでした。他にも文化の違いはたくさんありました。それぞれに興味深いものでした。そういう文化の違いを知り、理解することが大切だと思うようになりました。そうすれば、その国の良さにも気づけるはずですよ。

韓国では毎食「キムチ」が出ます。初めは、「辛い」と思いましたが、だんだん「おいしい」と思えるようになりました。韓国は、日本よりも寒いので、体を温めるために、キムチを食べるのは理にかなった文化だと理解できました。このように、実際にその国に行ってみないとわからないことがたくさんあるし、これまでの外国のイメージとは、かけ離れたことがあることもわかりました。何より、僕は行ったことのある韓国のことがより身近に感じられるようになりました。

国際化している現代社会で、他の国の文化をバカにしたり、面白おかしく受け止めたりする人は、これからの社会の変化についていけなくなると思います。

今は、外国に行かなくても、いろんな国の人に出会えます。そして、たくさんの学びができます。いろんな国の人たちと簡単に交流ができる社会だからこそ、文化の違いを理解し、尊重し合うことが大切なのではないでしょうか。それが、たくさんの国との友好関係につながり、よりよい世界を築くことにつながっていくと思うからです。